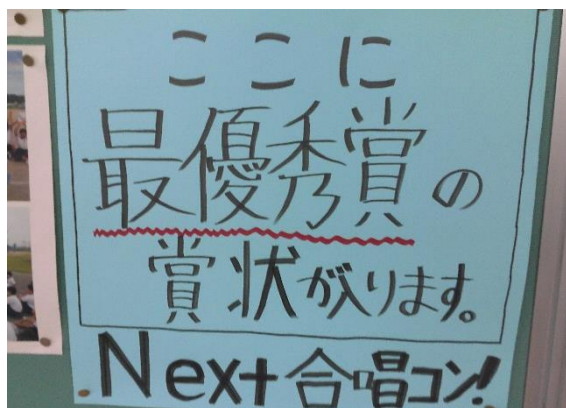


監督の栗山英樹さんが使っているのを『栗山ノート2』で読み、ハッとさせられました。栗山監督は、**好調な時ほど小さなことを大切に**されていたと書かれていました。

小さな一つ一つのことに目を配り、生徒の心に寄り添いながら、**行事が目白押し**の1年間の山場に向かって突入して



体育大会を終え、多くの生徒が達成感を味わっていることが「ふりかえり」よりわかりました。

「祭りの後の寂しさ」のように、少しぼっかりとした気分が残るかな、と思っていましたが、どの先生方も切り換えの重要性を口にし、それに呼応するかのよう
 に生徒は21、22日の中間テストに向けて、一気に気持ちを**テスト対策モード**にチェンジさせていました。

その点があまにも見事で驚くほどでした。

学級のため、ブロックのために全力を尽くした生徒たちが、今度は自分のために、5教科のテストに向かいます。

「**好事魔多し（こうじまおおし）**」という言葉があります。良いことには邪魔が入りやすい、という意味です。

意味自体は知っていたのですが、好調であるときほど注意しなければならない、と注意喚起する言葉としてWBC監

視の1年間の山場に向かって突入していきます。

あるクラスの廊下を見るとすでに合唱コンクールの最優秀賞をイメージした力強い掲示がありました。

生き生きはつらつとした生徒と教師のふれあいが垣間見られて、踊りだしたくなるほど嬉しくなりました。